

ふくい街角景気速報

(平成22年12月分)

調査期間 平成22年12月13日～24日 (回答率：96%)

概況

景気の現状判断DIは47.7となり、前月に比べ0.8ポイント上昇した。また、景気の先行き判断DIは43.2となり、前月に比べ0.2ポイント上昇した。

■景気の現状判断DI 47.7 (前月比 +0.8)

企業部門を見ると、多くの業種では、受注量・販売量に変化がない、または減少していると答える企業が多かったものの、繊維や眼鏡の一部の企業では受注量が増加しているとの声も聞かれた。

家計部門を見ると、多くの業種では、売上高や来客数が横ばいまたは減少しているとの声が聞かれた。一方、一部のショッピングセンターやスーパーでは客単価や購入点数が伸びてきているとの声が聞かれた。

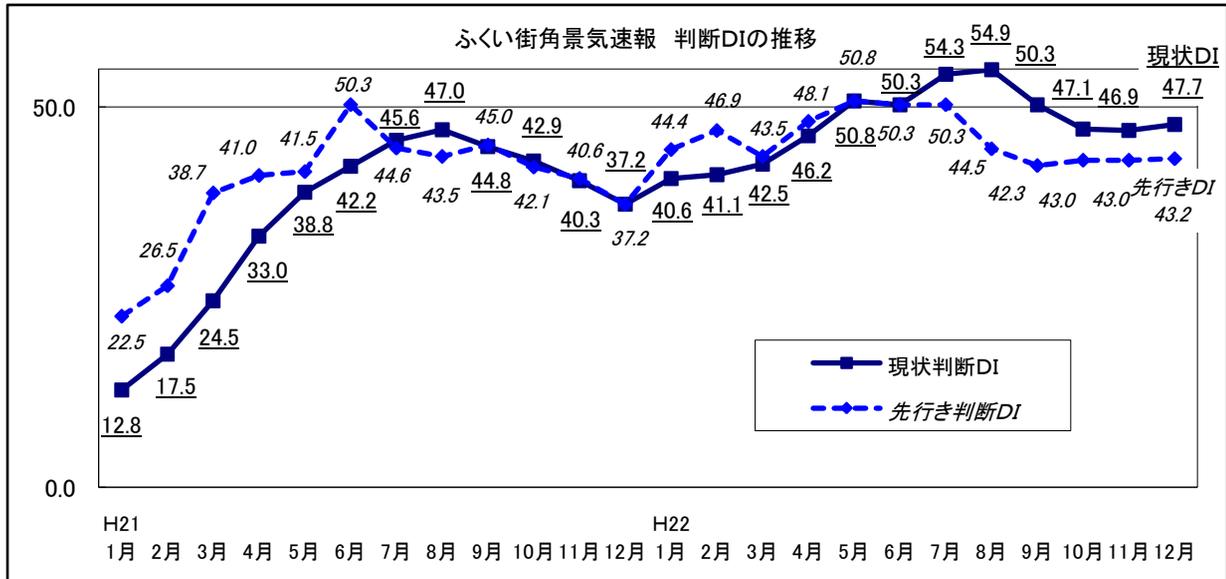
雇用部門を見ると、多くの就職支援担当者からは、正社員の求人は少なく、また、求人数にも変化がないことから、雇用情勢は厳しい状況が続いているとの声が聞かれた。

■景気の先行き判断DI 43.2 (前月比 +0.2)

企業部門を見ると、多くの業種では、今後の受注動向は厳しいとの声が聞かれた。また、円高等の影響により、景気の先行きを不安視する声が多く聞かれた。

家計部門を見ると、多くの業種では、不透明な景気の先行きや不安定な国内政治を理由に、個人消費の低迷が続くとの声が聞かれた。

雇用部門を見ると、各地域の就職支援担当者からは、円高や政府の景気刺激策の終了などにより、景気の先行きを懸念する声が聞かれた。



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	3 P
3. 判断理由 (1) 景気の現状判断の理由	4 P
(2) 景気の先行き判断の理由	7 P
4. 参考 (1) 調査対象の構成	10 P
(2) 調査票	11 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	39	21	13	5
坂井	坂井市、あわら市	14	8	6	0
奥越	大野市、勝山市	10	5	3	2
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	17	7	8	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	10	6	4
計		100	51	36	13

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
 悪くなっている 変わらない 良くなっている

調査結果

1. 景気の現状判断DI

今月の現状判断DIは、47.7となり、4ヶ月ぶりに上昇した。
 先月と比べ、家計動向関連は減少したものの、企業動向関連、雇用関連は上昇した。また、変わらないとする回答が増加し、回復している、または、悪化しているとする回答が減少した。
 企業部門を見ると、多くの業種では、受注量・販売量に変化がない、または減少していると答える企業が多かったものの、繊維や眼鏡の一部の企業では受注量が増加しているとの声も聞かれた。
 家計部門を見ると、多くの業種では、売上高や来客数が横ばいまたは減少しているとの声が聞かれた。一方、一部のショッピングセンターやスーパーでは客単価や購入点数が伸びてきているとの声が聞かれた。
 雇用部門を見ると、多くの就職支援担当者からは、正社員の求人は少なく、また、求人数にも変化がないことから、雇用情勢は厳しい状況が続いているとの声が聞かれた。

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	H22 7	8	9	10	11	12	(前月差)
合計		54.2	54.9	50.3	47.1	46.9	47.7	+0.8
家計動向関連		51.0	54.3	48.5	42.9	47.0	46.9	▲0.1
小売		50.0	51.5	49.3	47.8	50.0	48.5	▲1.5
飲食		50.0	62.5	62.5	18.8	31.3	37.5	+6.2
サービス		55.0	60.0	40.9	36.4	43.2	45.5	+2.3
企業動向関連		56.3	52.8	50.0	51.5	45.7	46.4	+0.7
製造業		55.8	54.8	50.0	51.0	44.0	50.0	+6.0
非製造業		57.5	47.5	50.0	52.5	50.0	37.5	▲12.5
雇用関連		60.4	63.5	57.7	51.9	50.0	53.8	+3.8

(参考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」(11月調査結果)
 現状判断DI 43.6

○回答別構成比

	年 月	H22 7	8	9	10	11	12	(前月差)
良くなっている		0.0%	5.2%	3.1%	2.1%	3.1%	1.0%	▲2.1
やや良くなっている		33.3%	25.0%	19.6%	16.7%	16.5%	17.7%	+1.2
変わらない		50.0%	56.2%	55.7%	54.2%	50.5%	53.1%	+2.6
やや悪くなっている		16.7%	11.5%	18.6%	21.9%	24.7%	27.1%	+2.4
悪くなっている		0.0%	2.1%	3.1%	5.2%	5.2%	1.0%	▲4.2

2. 景気の先行き判断DI

今月の先行き判断DIは、43.2となり、先月に比べて上昇した。
 先月と比べ、企業動向関連は上昇し、家計動向関連および雇用関連は減少した。また、回復している、変わらないとする回答が減少し、悪化しているとする回答が増加した。
 企業部門を見ると、多くの業種では、今後の受注動向は厳しいとの声が聞かれた。また、円高等の影響により、景気の先行きを不安視する声が多く聞かれた。
 家計部門を見ると、多くの業種では、不透明な景気の先行きや不安定な国内政治を理由に、個人消費の低迷が続くとの声が聞かれた。
 雇用部門を見ると、各地域の就職支援担当者からは、円高や政府の景気刺激策の終了などにより、景気の先行きを懸念する声が聞かれた。

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	H22 7	8	9	10	11	12	(前月差)
合計		50.3	44.5	42.3	43.0	43.0	43.2	+0.2
家計動向関連		49.5	43.1	43.4	43.9	44.0	43.8	▲0.2
小売		50.7	41.7	45.6	47.8	45.7	43.2	▲2.5
飲食		50.0	56.3	43.8	37.5	31.3	37.5	+6.2
サービス		45.0	42.5	36.4	34.1	43.2	47.7	+4.5
企業動向関連		50.0	45.8	41.4	41.4	40.0	42.1	+2.1
製造業		51.9	49.0	43.0	44.0	42.0	46.0	+4.0
非製造業		45.0	37.5	37.5	35.0	35.0	32.5	▲2.5
雇用関連		54.2	46.2	40.4	44.2	47.9	44.2	▲3.7

(参考) 内閣府「景気ウォッチャー調査」(11月調査結果)
 先行き判断DI 41.4

○回答別構成比

	年 月	H22 7	8	9	10	11	12	(前月差)
良くなる		2.1%	1.0%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	+0.0
やや良くなる		16.7%	11.5%	8.2%	14.4%	11.3%	10.4%	▲0.9
変わらない		64.6%	55.2%	53.6%	43.3%	55.7%	55.2%	▲0.5
やや悪くなる		13.5%	29.2%	33.0%	38.1%	26.8%	31.3%	+4.5
悪くなる		3.1%	3.1%	4.1%	3.1%	6.2%	3.1%	▲3.1

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由	
①良くなっている	企業 動向	丹南	眼鏡	・プラ枠の売れ行きが好調。 ・市場で日本製が認められて売れ行きが好調。	
②やや良くなっている	家計 動向	丹南	小売店	・客単価がやや上向きになっている様子だが、長続きするかどうかは不透明。	
		丹南	小売店	・御歳暮の時期であり、例月よりも好調。	
		福井	百貨店、 ショッピングセンター	・お得意様、物故作家の美術品を中心に高額品の動き活発。 ・前月に続き高額美術品の動きがあり、回復基調が鮮明。	
		福井	百貨店、 ショッピングセンター	・客単価が持ち直してきている。	
		福井	百貨店、 ショッピングセンター	・9月以降、3ヶ月連続で売上高・客数が伸びている。	
		坂井	百貨店、 ショッピングセンター	・上期は客数、売上ともに低迷。 ・9月以降、店全体（食品、衣料、住関）では回復傾向にある。	
		丹南	スーパー	・客の購買動向が上がってきている。 ・特に買上点数が昨年を超えてきているとともに、客数は確実に上がっている。 ・一方、競合店等でも低価格展開、ポイント企画などを実施しており、苦戦は続くと思われる。	
		丹南	スーパー	・前年よりも各指数が伸びている。	
		福井	割烹	・忘年会時期で時期でもあるが、市の施設が一つなくなったことから、全体に飲食店は来客数も多くなっている様に思う。	
		福井	自動車整備	・来客数の動きがやや良くなっている。	
	福井	ビジネスホテル	・昨年はこの時期「新型インフルエンザ」の影響で宿泊客が少なかったが、今年はノロウイルスの大流行による影響が懸念される。		
	福井	企業 動向	福井	繊維	・市場の動きが活発になってきている。 ・受注も多くなってきている。
	丹南	眼鏡	・眼鏡小売店が他店との差別化を図るため、安価な中国製品より日本製に切り替える傾向にあると感じている。		
	福井	一般機械	・受注量はやや改善傾向。 ・極端な円高も是正の動きがある。		
	福井	雇用	嶺南	労働相談員	・10月の敦賀と小浜の有効求人倍率および新規求人倍率は前年同月を上回った。
	③変わらない	家計 動向	福井	商店街	・来客数、販売額ともに変化は感じられない。
			福井	小売店	・客の様子に変化がない。
坂井			小売店	・売上高、来客数等に変化がない。	
福井			百貨店、 ショッピングセンター	・売上予想比、前年同月比ともに割り込む。 ・気温が下がったこともあり、ニットアウターやコートが動き、客単価が伸長した。 ・単品買いの傾向は変わらず。	
福井			百貨店、 ショッピングセンター	・12月に入り、気温が低下し鍋もの刺身等季節商材をテコに中旬以降回復基調。 ・歳暮ギフトは11月好調の反動で全体的には不調だが、ビール、酒類は好調。	
丹南			百貨店、 ショッピングセンター	・売上額、買上客数、来館客数、客単価に変化がない。	
奥越			百貨店、 ショッピングセンター	・売上、客数とも昨年同月比で減少が続いている。	
坂井			スーパー	・来店客数ではほぼ横ばいながらも客単価が減少しており、売上は前年割れ。	
嶺南			スーパー	・来店客数の動きが変わっていない。	
福井			大型小売店	・購入意識が上がらないため、客数・購買点数等が伸びない。	
嶺南		コンビニエンスストア	・来客数、販売量など変化なし。		
福井		駐車場	・利用者台数では、3ヶ月前および昨年同期比で減少している。 ・前月よりもやや改善傾向にあるが、減少傾向は変わらない。		
福井		ビジネスホテル	・客数は増加しているものの、客単価が減少している。		
福井		タクシー	・客の様子に変化がない。		
福井		企業 動向	坂井	繊維	・取引先の様子に変化がない。
奥越		繊維	・受注については堅調な状況が続いている。 ・一方、原料高などのコストアップが気になる。		
丹南		眼鏡	・11月はI O F Tの整理で終わったが、今ひとつ盛り上がり欠けた。		

③変わらない	企業 動向	坂井	一般機械	・円高の影響が懸念される。 ・引き合いの話は多くなったが、いずれも来期予算計画で1月から3月までの経過が課題である。
		福井	一般機械	・勢いは落ちたものの、受注量については堅調に推移している。
		丹南	電気機械	・当社の受注動向に変化なし。
		嶺南	電気機械	・原材料の上昇、海外の人件費高騰が続いており、コスト圧迫要因となっている。 ・一方、売上は海外比率が上がる中、新興国ローカルメーカーとの競合となるケースも多く、厳しい状況である。
		福井	化学・プラスチック	・住宅向け資材は一向に上向かず、受注量が変わらない。
		丹南	鉄鋼	・受注量の動きに変化がない。
		丹南	伝統工芸	・価格は安く利益が薄いものばかりの注文。 ・取引先も在庫をおかず小ロットの注文しか出せない。
		丹南	伝統工芸	・販売量に動きはない。
		嶺南	商社	・相変わらず状況は厳しい。
		丹南	食料品製造	・対前年比で横ばい状態になっている。 ・これ以上悪くなると、運営状態が非常に厳しくなる。
		嶺南	医薬品	・ジェネリック医薬品の増加も一段落し、健康食品、一般薬も変化なし。
		福井	IT関連	・受注量の動きに変化なし。
		福井	不動産	・土地の価格は弱含みだが、取引量は昨年同月を上回る。 ・ただ、購入見込客の数は低い水準で推移。
		福井	運輸	・9月まで売上高の前年比増加率は右肩上がりだったが、10月以降横ばいの状況である。
		嶺南	運輸	・国内自動車産業が悪く、国内物流に影響がある。
	雇用	奥越	自治体労働政策担当課	・冬期間の臨時雇用と誘致企業の雇用増で、有効求人倍率が2年ぶりに1倍を超えた。 ・しかしながら、例年の傾向から景気が良くなっているとは言えない。
		福井	労働相談員	・依然として雇用形態の改善が見られない。
		奥越	学校就職担当者	・管内の一般求人状況は、依然厳しい状況にあり、新規高卒求人も止まってしまった。
		福井	学校就職担当者	・3ヶ月前と特に変わった様子はない。
		嶺南	学校就職担当者	・現状、景気を押し上げる要因がなく、低いままで変化が見られない。
福井		ジョブカフェ担当者	・雇用関係データでは、求人数が増え求職者数が減少傾向にあり、先行きの改善傾向が推測される。 ・一方、正社員求人は少なく、地域によっては季節的な求人増加の要因もあり、景気は一進一退を継続するものと思われる。	
嶺南		ジョブカフェ担当者	・求人数や雇用形態などに大きな変化はない。	
福井		就職情報誌	・求人、求職の動きがあまり変わっていない。	
嶺南		就職情報誌	・周辺企業の様子に変化が見られない。	
④やや悪くなっている		家計 動向	丹南	商店街
	福井		小売店	・県内に同業店舗がOPENしたため、少し売上が目減りしている。
	奥越		小売店	・エコポイントが半分以下になり、また、その前の反動もあって、やや悪くなっている。
	奥越		百貨店、 ショッピングセンター	・来店客が減少している。
	嶺南		百貨店、 ショッピングセンター	・SCからの退店が相次いだため、集客力が徐々に衰退している。
	福井		スーパー	・販売額、客単価が前年割れであり、回復の兆しが見えず。
	嶺南		大型小売店	・エコポイント半減による影響でTVを中心に売上が厳しくなっている。 ・競合店も同様と思われる。
	嶺南		コンビニエンスストア	・12月の動きとしては非常に弱く活気がない。
	嶺南		ドライブイン	・閑散期に入り、来客数が減少している。
	丹南		クリーニング店	・年末年始に向かって出費もふえるため、徐々に来客数も減っている。
	坂井		旅館	・忘、新年会を取り止めにしているところが多い。
	坂井		旅行代理店	・販売面では、ボリューム、収益率ともに前年割れ。 ・来客数も同様で、全客層共に手控えモード。
	福井		旅行代理店	・年明けの受注状況が伸びない。
	企業 動向	奥越	電気機械	・受注量、在庫調整は終わりつつあるが、完全回復までは至っていない。
		福井	化学・プラスチック	・受注量や販売量に動きがなく、取引先の様子も変わらない。

④やや悪くなっている	企業 動向	嶺南	化学・プラスチック	・受注量が小さくなってきている。
		福井	商社	・個人消費のガソリン量は減少傾向であり、建設・運輸向け軽油も同様。 ・工場向けなども含め、県内企業向けすべて前年割れ。
		坂井	非鉄金属	・今月以降、受注ならびに受注予想量が減ってきた。
		坂井	IT関連	・受注量が減少し、価格競争が激化している。
		福井	金融機関	・前向きな資金需要はごく一部に限られており、小口～中口の倒産が増加トレンド。 ・貸出条件変更の申込が既に前年度を上回る勢いで、目先の景気は非常に不安定。
		福井	金融機関	・受注量や販売量は、電子部品等では変化がないが、建設業では公共工事の減少等により苦しい状況が継続している。
		坂井	建設業	・見積り物件がない。
	嶺南	建設業	・消費動向の低迷は、改善の見込みがない。可処分所得が減少し、将来不安による蓄えに意識が向いている。 ・公共事業も、予算削減の影響で、発注手続きが2ヶ月以上遅れるような状況も見られ、景気に好況感はなく、上昇期待はできない。	
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	・市内企業で本社の方針により統廃合の動きがあった。
⑤悪くなっている	家計 動向	福井	居酒屋	・お客の動きが少ない。

3. 判断理由

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由	
② やや良くなる	家計動向	福井	百貨店、ショッピングセンター	・米国の景気回復も後押しし、株価も戻り基調。 ・高額品需要の回復基調続くと予測。	
		坂井	百貨店、ショッピングセンター	・経済環境も依然厳しく、客も特招会やイベントなどで店を使い分けて利用している。 ・全般的な傾向として、普段は節約志向であるが、モチベーションやカレンダー行事などプチ贅沢を好む傾向もあり、やや回復基調と思われる。	
		丹南	スーパー	・前年よりも各指数が伸びている。	
		坂井	旅館	・景気回復の兆しがある。	
		福井	ビジネスホテル	・「越前伝統ものづくり」と恐竜博物館の新しいツアーが始まるので、集客の少ない日曜日を中心に宿泊客数の増加が見込める。	
		坂井	観光・レジャー施設	・輸出等も景気もどろつつあるようなので、日本も少しは元気になると期待している。	
	企業動向	丹南	眼鏡	・中国市場での日本製の売行きが好調のため、受注文数が多くなっている。	
		丹南	電気機械	・当社の受注動向がやや改善傾向。	
		奥越	食料品製造	・補助金制度もあり、それでやる気の出てる人も増えるのではないかと。	
	雇用	福井	学校就職担当者	・国民の消費動向が気になるが、クリスマス商戦や年末年始時期に景気に水をさすようなことがなければ、少しずつ良くなると思われる。	
	③ 変わらない	家計動向	福井	商店街	・前月同様、天候も安定しているため、全体的な伸びも落ち込みもないと予想している。
			福井	小売店	・新築工事も店舗改装工事もない。
			福井	小売店	・低迷が続いており、変化があるとは思えない。
丹南			小売店	・年明けに期待したい。	
福井			百貨店、ショッピングセンター	・機能性や低価格など商品以上の価値を求める傾向にあり、単品買いの傾向は変わらないため、客単価は上がらない。 ・コートを下見する客は多いが、雪が降らないため、なかなか実売に繋がらない。	
福井			百貨店、ショッピングセンター	・10年度下期の半分を経過したが、前年実績維持が精一杯。	
福井			百貨店、ショッピングセンター	・客数、客単価はやや持ち直してきているが、競合店との競争も激しくなると思われる。	
福井			百貨店、ショッピングセンター	・若干の売上高減少が予想されるが、大きな変動はしない。	
丹南			スーパー	・エコポイントの減額に伴い、家電等の消費が落ち込み、一般消費に移ると考えられる。 ・食品の消費は大きく消費を上げていくとは考えにくく、節約志向が続くと考えられる。	
福井			スーパー	・政府の景気対策が示されたが、実効性は未知数。	
福井			大型小売店	・現状、良くなる要素がない。	
嶺南			大型小売店	・エコポイント半減の影響でテレビを中心に売上が厳しくなっている。 ・エコポイント対象外の商品は昨年並み。	
福井			駐車場	・全般的に景気の上向き材料が乏しく、今後も期待できない。	
福井			ビジネスホテル	・客数は増加しているものの単価が減少している。 ・単価を下げることで客数は増加しているので、景気は横ばい。	
福井		タクシー	・変化する様子が見当たらない。		
企業動向		福井	繊維	・1月～2月はこれまでよりも良くなるとは思えず、現状維持が良いところと思われる。	
		奥越	繊維	・円高傾向に一服感があるものの、先行き不透明感はぬぐえず、慎重な対応が必要と感じている。	
		丹南	眼鏡	・受注量が少ない。	
		丹南	眼鏡	・先行き不安がつきまとい、数量面あるいは単価面での厳しさが懸念される。	
		坂井	一般機械	・県内の動きは非常に鈍い。 ・自社の営業活動もほとんど県外（近畿、関東）が主体となっている。	
		福井	一般機械	・若干の改善傾向は見受けられるが、まだ先を見通せる程の力強さはない。	
		奥越	電気機械	・在庫調整は一通り終わると思われるが、家電対象の政府補助もなくなるため、生産量などは不透明。	
		嶺南	電気機械	・先行きは少し厳しさが出てきている様にも感じる。 ・円高や原材料上昇、景気の2番底も懸念。 ・海外では損益面で厳しい状況にあるものの、現状では海外頼みの状況は変わらず。	
	嶺南	化学・プラスチック	・エコポイント等の縮小・廃止、新規雇用の手控え等、将来に対する危機感もあり、消費停滞、財布の紐は堅くなってきている。		

③変わらない	企業 動向	福井	化学・プラスチック	・住宅に関しては短期で復旧するとは考えにくく、中期・長期（3～5年）はかかると思っている。	
		丹南	鉄鋼	・受注量の動きに変化なし。	
		嶺南	商社	・良くなる要素が見当たらない。	
		丹南	食料品製造	・今年は横ばいかやや上向き傾向ではあるが、政治不安と企業のボーナスの支給状況により、消費がどうなるか不透明である。	
		嶺南	医薬品	・当面、現状程度の状況で推移見込み。	
		福井	IT関連	・受注量の動きに変化がない。	
		福井	運輸	・長期的には円高による生産の海外移転等プラスの材料はないが、2～3ヶ月先であれば現状維持と考える。	
		嶺南	運輸	・年末に向け通常の動きすらなく、景気の悪さを痛感。	
	雇用	奥越	自治体労働政策担当課	・スキー客の増が、見込めるような降雪が必要。	
		嶺南	労働相談員	・年末のため、地元ではまずまずの繁忙感があるが、今後景気停滞の影響が出てくると思う。	
		福井	学校就職担当者	・法人税率を下げても、労働者に還元されるはずがなく、結局は内部留保するだけであり、消費にも向かわない。	
		嶺南	学校就職担当者	・大卒の採用状況が57.6%と最悪で、来年卒の採用状況も楽観出来ない。	
		福井	ジョブカフェ担当者	・景気刺激策の終了により需要の先食い感を受ける。 ・先行き不透明な時代は今後も続き、企業経営の一層の努力が求められる。	
		嶺南	ジョブカフェ担当者	・景気や雇用対策などの結果が、反映されるにはまだまだ時間がかかる。	
		福井	人材派遣会社	・政治、経済を含めて、先行き不透明感が強い。	
		嶺南	就職情報誌	・家電エコポイント制度関連で特需となったが、これから先は反動で景気が下向きになる要素を孕んでいる。	
	④やや悪くなる	家計 動向	坂井	小売店	・冬場に入り、積雪等で動きが鈍くなる。
			奥越	小売店	・冬は例年来客数が少なく、エコポイントの効果が見込めない。
			丹南	百貨店、 ショッピングセンター	・景気回復に向けた明るい材料がなく、政情不安や近隣諸国との関係が安定しない等、マイナス要因が多い。
嶺南			百貨店、 ショッピングセンター	・商業集積としての機能が大幅に低下し、客数、客単価、売上高が大きく減少しつつある。	
奥越			百貨店、 ショッピングセンター	・緩やかな下降デフレ経済が続いている。	
坂井			スーパー	・景気の先行きは依然予断を許さず不透明であるため、個人消費は伸び悩む見通しとなる。	
嶺南			スーパー	・事業収益が悪化。	
嶺南			コンビニエンスストア	・冬場に向かい景気が悪くなる。	
嶺南			ドライブイン	・観光客の減少により、収益の低下が予測される。	
福井			割烹	・他県からの客入りは天候に左右され、福井県内で雪が降っていれば、小浜への客入りも減ってしまう。	
福井			居酒屋	・不景気で厳しい。	
福井			自動車整備	・消費者がお金を使わない。	
丹南			クリーニング店	・毎年、4月頃までは来客数が減少する。	
坂井			旅行代理店	・自動車に続き、家電特需で高額商品の購入が続いたため、来年は嗜好品、高額商品の購入手控えが予想される。	
福井			旅行代理店	・政治も不安定で、旅行に関しては、北朝鮮の問題など明るい話題がない。	
④やや悪くなる		企業 動向 企業 動向	坂井	繊維	・円高や取引先の様子からやや悪くなると予想される。
	福井		化学・プラスチック	・景気支援制度の終了と円高の影響でやや悪化すると見込まれる。	
	丹南		伝統工芸	・例年2月、3月は下落する傾向にあり、良くなるデータが何もない。	
	福井		商社	・県内の個人向けガソリン価格は全国最低であり、市況は最悪の状況。 ・気温も高く灯油販売も期待できず、価格もホームセンターの乱売に巻き込まれて利益が薄い。 ・企業向け燃料も前年割れ。	
	坂井		非鉄金属	・来年1～3月は受注量が減ると予想している。	
	坂井		IT関連	・見込受注額が減少している。	
	福井		金融機関	・前向きな資金需要はごく一部に限られており、小口～中口の倒産が増加トレンド。 ・貸出条件変更の申込が既に前年度を上回る勢いで、目先の景気は非常に不安定。	
福井	金融機関	・エコカー補助金の終了、エコポイントの変更等により売上高の減少が考えられる。			

④やや悪くなる	企業 動向	坂井	建設業	・政治が不安定で消費者の財布のひもが固い。
		福井	不動産	・住宅版エコポイントが終了を迎え、全般に家庭の出費も手控えになると思う。
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	・円高等の影響が中小企業に出てくるとされる。
		福井	労働相談員	・民主党政権の安定が見られないため、政策の実行が遅れる。
		奥越	学校就職担当者	・エコポイント等の政府の景気対策も、需要の前倒しであるため、今後厳しくなると予想される。
		福井	就職情報誌	・アジアの情勢が不安定。
⑤悪くなる	家計 動向	嶺南	コンビニエンスストア	・政治をはじめ、景気減速を懸念させるニュースが多く、期待が持てない。
	企業 動向	丹南	伝統工芸	・先の注文が入ってこない。
		嶺南	建設業	・企業減税5%は大手や黒字企業にはメリットがあるが、地方と中小零細企業は、赤字が常態化している企業がほとんどであり、効果は限定的。 ・国内消費を向上させる施策が、効果的に緊急実施されない限り好転は期待できない。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		51
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	6
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	2
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		13
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	4
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部政策推進グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)